三好博士ハ天然紀念物解說中ニ吾妻山ニ「花ノ白イモノト、淡紅色ノモノトアルガ、八重ニナツタノハスベテ白花デアル。」ト述ベテキルガ、私ノ採集セル岩木山及ビ森吉山ノモノハ總テ淡紅色ノモノデアツタ。雄蘂ノ化生ノ程度ニモ色々アツテ、第1圖ノ枝ニ着ケル花ノ下ノ方ノ花デハ複花冠ノ上方ノ花瓣ハ完全ニ花瓣化シテ、他ノ花瓣ハ同圖 C ノ如キ形態ヲ有スルニモ係ラズ雄蘂ノ痕跡ヲ認メナカツタ。第1圖ニ示シタ複花冠ハ總テ合瓣デアルガ、第2圖ニ示シタ様ナ花瓣ヨリナル離瓣狀ヲナシテキル複花冠モアル。然シテ各花瓣ガ多少基部ハ弱ク附着シテキタ。第2圖ノ A ハ雄蘂10本ノ中ノ短イ雄蘂ノ中5本ダケガ化生シタノヲ示シタモノデ、同圖 B ハソノ側面、C ハ內面ノ圖デアル。完全ナ雄蘂ト基部ガ附着シタモノデアル。又株ニヨリ一方ハ複花冠ヲ有スルガ、他方ハ複花冠ヲツケズニ完全ノ雄蘂ノミヲ有スルモノモアル。圖ニ見ル如ク雌蘂ハ完全ナル形態ヲ有シ、結實スルコトハ、岩木山デ採集シタ株ニ昨年ノ果實ノ殼ヲ見、森吉山デハ新シイ果實ヲ着ケテキル枝ガアツタコトニヨツテモ明デアル。葯ニハ花粉ヲ出スモノ及ビ出サザルモノ、或ハ形態ノ著シク變ツタモノガアル。第1圖 D 及ビ 第2圖ノ B ハ葯ノ變化スル様子ヲ示シタモノデアル。　　　　(松田孫治)

○杉ノ花ノ變リモノ

余ハ昭和九年四月二日奈良縣立磯城農學校ノ運動場西端ノ杉ノ生垣中デ杉ノ花ノ變リ物ヲ採集シタ。此ノ杉ハ 15, 6 年ニハ達シテ居リ、地上十尺位デ幹ガ切ツテアツタ。此ノ變ツタ花ハ主ニ地上 4 尺カラ 6 尺位ノ高サノ間デ多數見受ケタノデアル。變ツテキルト云フノハ、毬果ノ先端ガ第二次生長ヲナシテ、此處ニ多數ノ雄花ヲ着生シテ居ルト云フ點デアル。雄花ハコレダケニ止ラズ、所謂雌花ノ花梗ノ部分ニモ着生シテキタ。雄花ノ數ハ一ツノ枝ニ於ケル雌花ノ排列場所ニヨツテ一定ノ關係ガ見出サレタ。即チ一枝ニ於テハ花ガ枝ノ上部ニ着生スルモノ程雄花ノ數ガ少クナル。又一方之ニ反シテ上部ニ着生スル花ノ方

第3圖　すぎノ花ノ變リ物

ガ雄花ノ數ヲ增スコトデアル。

何レニシテモ雄花ノ最大數ハ 35 個位デアツタ。又雄花ガ着生スル部分ノ長サハ最大ガ 4 cm 位デ少クモ 2 cm 以上ハアル。又毬果ノ所謂花梗ノ部分ハ正常ノ物ガ 1 cm 位ナノニ對シテ、最大ガ 5 cm 餘モアリ最小ノモノデモ 2 cm アツタ。此ノ花梗ノ長サモ一枝ニ着生スル場所ノ上下ニ依ツテ差異ヲ生ジ、下ノモノ程長カツタ。

此所ニ又面白イモノハ此ノ花梗ノ部分ニモ雄花ヲ着生シテ居ル事デアル。但シ雄花ハ多クハ花梗ノ短イモノニ着生シテヰタ。ソノ雄花ノ數ハ前者ニ較ベテ遙ニ少ク、5〜6 個ニスギナカツタ。然シテ此ノ雄花ヲ毬果ノ上下ニ着ケテヰルヨウナモノハ稀デ、多クハ毬果ノ上部ニ着生シテヰタモノデアル。

今此等ノ雄花•雌花ヲ見ルニ、何等形態的ニ大サ•形狀ハ正常ノモノト變ツテハヰナカツタノデアル。余ハ之ニヨツテ杉ノ祖先返リダト考ヘ、松柏科植物ノ毬果ハ一ツノ花序タル事ヲ明ニ示スモノデナイカト思フ。 (岩田重夫)

○苦竹ノ花咲ク

まだけ (*Phyllostachys reticulata* Koch.) ノ花ノ咲ク週期ニ達シタモノカ横濱ノ德永家次氏ハ本年十月十四日相州山口村ニ於テ其盛ンニ開花セルニ會ヒ之ヲ採集サレタ。恐ラク自今各地ヨリ同樣ノ報告ニ接スルデアラウガ、取敢エズ報ジテ置ク。 (久内清孝)

○みづきんばいノ產地

みづきんばい (*Jussiaea repens* L.) ガ武州金澤ノ水田ニアルトハ誰モ氣ガツカナカツタト思フガ、其レガ慥ニアル事ガ中村正秋氏ノ採集品ニヨリ證明サレタ。 (久内清孝)

○かやつりぐさノ產地

かやつりぐさ (*Carex cyperoides* L.) ハ東大理學部植物學教室所藏ノ標本ニヨレバ、內地ニ於ケル最初ノ發見ハ 1924 年 8 月 6 日甲州河口湖ニ於ケル故早田文藏博士ノ採集デアツテ、其後今迄本州デ知ラレテ居ナカツタガ九里聰雄氏ハ甲州精進湖デ、奥山春季・檜山庫三氏ハ同ジク河口湖デ得ラレタ。コレデ本種モ本州ノ「フローラ」ニ入ツタ事ニナル。

余モ本年ノ秋河口湖畔デ之ヲ得タ。之ニヨリ此植物ハ秋迄其生活ヲ持續スルノミナラズ、花穗ノ發育ヲ繼續シツヽアルコトヲ今更ノ如ク知ツタ。尙全體ノ